

## 親子で遊ぼう入間・樹林地で

入間・樹林の会では、子どもたちとの活動を年間計画にいらしています。今年は、11月16日（日）東部児童館との共催で、シュロやスギの伐採体験とシュロの樹皮の繊維を活用してシュロ縄づくりを計画しています。富士見児童館の自然サークルの子どもたちが当日、入間樹林の探険に自転車でやってくることになりました。樹林の会は、身近な雑木林が、子どもたちの遊び場や地域の人たちの憩いの場となることをめざした活動をしています。

今後、総合的な学習の実践の場としても入間樹林地が活用されるといいなと思います。



（右の写真は、昨年の様子です。）



＊ ＊お知らせ：12月21日は、地域の人たちを迎えてお楽しみ会を予定しています＊ ＊

## 調布の自然 水辺編 No.8 ~ 府中用水の水は・・・ ~

立川段丘南縁に位置する布田崖線（一般には府中崖線と呼ぶ）の下の多摩川低地を流れる府中用水。国立市青柳で多摩川から取水され、主に府中市で農業用水や都市排水路として利用される用水は、いったん暗渠になり、調布市内で再びその姿を現し、二ヶ領上河原堰の下流で多摩川に合流します。

今では都市化の影響で農業用水の役割も終え、深く掘り下げられたコンクリート三面張りですが、壁面の水抜き穴からは地下水が流れ落ち、浮き上がり防止のための底の水抜き穴からも水が噴出しています。下水道が整備された現在、雨水や地下水を集めて流れる府中用水の水質は、良好といえます。

府中用水の利用形態としては、調布市自然環境保全計画の中で将来像が提案され、布田崖線緑地を考える市民の会（通称凸凹山）で計画中ですが、掘り下げられている深さが障害となりそうです。（中原）



# 野川・里山探検隊

10月4日(土)多摩川二ヶ領上河原堰から自然観察緑地にかけて、「多摩川の野鳥・魚・秋の虫」の観察会を実施しました。小池講師の指導のもと、サポーターは中原さん、飯島さんにお手伝いいただきました。



野鳥観察では双眼鏡の使い方と注意の説明。コサギ、ダイサギ、カイツブリ、カワセミ等、約500羽の鶉の重さで垂れ下がった儘の送電線。水生生物では投網で天然鮎を捕らえ、ハミ跡まで見られた。食べて美味しい、モクズガニも取れた。オイカワ、モロコ、ヨシノボリ、カマツカ、ニゴイ、マルタ、アメリカザリガニ等。鳴く虫の観察の前に、CDにて虫の音色を参考に聞いたが、何種類も聞いていると聞き分けられなくなる。夕闇となり観察緑地を散策すると、アオマツムシ、カネタタキ、セスジツユムシ、カマドウマ、ショウリョウバッタ等が聴かれ、最近では珍しい予想しなかった邯鄲(かんたん)の鳴き声に遭遇、一同感激、観察会成果有り。(A)



僕、トウカエデの幹で仮眠中のカエルです

## 「ワンダーランドな心」

普段なんとなく雑木林の中に入って枯れ木や枯れ枝を見ていたけれども、この枯れ木や枯れ枝はどのように生じてきたのだろうか。

小池講師の説明を聞くまでは、正直あまり気にとめていなかった。この枯れ枝も以前は、緑の葉をつけ太陽の光を浴び、光合成を行って樹木の栄養分を作っていたのである。

しかし、樹木が大きくなると下の方の葉は太陽の光が当たらなくなり、やがて光合成を行わなくなり、葉っぱはだんだんと黄色くなり枯れ枝になってしまう。そして樹木によっては周りの高い木に囲まれ太陽の光が全く当たらなくなり、枯れ木になっていくというのである。

雑木林の中になんとか散らばっている枯れ枝や腐りかかった枯れ木も、雑木林の中でちゃんと役割をはたしていたことに「はっ!」と気づかされた。そう思うとここにある枯れ枝や枯れ木をおろそかにできない気分になってきた。

枯れ枝を薄く輪切りにし、パッチャやコースターをつくる时候に見えてくる切り口の木目は、枯れ枝一つ一つに個性があり、猿の顔やら、フクロウの眼にみえてくるから不思議である。

こんなワンダーランドな心をおもいださせてくれるのが雑木林塾の面白さなのかもしれない。

(松原)



# 人間樹林の会活動記

～ホンモノのタヌキの親子が3匹出没しているようです～

- 1 10月19日当日は、久しぶりの好天気に恵まれたので先に作業をし、終了後に話し合いをしました。  
?道路側の樹木に名札をつけました  
?樹林地の整備をしました  
?「方形枠の植生定期調査」をしました
- 2 根本講師から今後のあり方の一つとして指針が出されました。

明るくなった樹林地にはアザミやクズその他が生えてきましたが、望まれるものばかり出てくることはないので、恒久的な手入れが必要となるから急ぎ『何時・誰が・どのようにして対処するか』決めるようにとのことです。

- 3 11月16日に予定している東部児童館との共同企画はシュロ<sup>ほうき</sup>を利用したものにすることで会員が持参した<sup>ほうき</sup>他を参考に意見が出されました。
- 4 タヌキの保護については、早急に通り道を確保すべきだとの意見がありました。

人間樹林の会では11月、12月と楽しい催しを企画しております。

樹林を育てる〔実は自分が育てられている〕楽しみもありますので多くの方が参加されるようご案内します。

(里)



## 2003 ちょうふ DE 田んぼ日記その7 「稲も子供も成長しました！」



4月27日に種まきをしてから5ヶ月、6月15日に田植えをしてから2ヵ月半、冷夏の影響も心配されましたが、稲はなんとか穂を垂らし、10月4日いよいよ収穫の時をむかえました。

小さな空きビンの中で、見守るように発芽させ、丈夫に育てよと祈るようにして植えた、か細い苗が成長し、青々と繁り、花を咲かせ、黄金色に輝く稲穂となる様子を観察することができたことは、本当に貴重な体験でした。

稲刈りは、子供達の参加もあって、あっという間に終わりました。小さい子供も大人に負けじと鎌で刈ります。その手際もなかなかのもの。春の頃に比べて子供達も成長したものだと感じました。

稲はわらで束ねられ(結び方がけっこう難しかったです)太陽の光を満遍なく受けて早く乾燥するように南北に渡した「はざ(横木)」に次々と掛けられます。そして、雨よけのビニール、鳥避けの網が張られ、「はざ掛け」の作業も手際よく終わりました。あたりは一面、稲藁の香りがたちこめ、すがすがしい気持ちに。

田んぼの学校を通して、「田んぼ」は小さな微生物から太陽の光まで、全てが有機的に絡みあって成り立っていることが分かりました。そして全てのことがらには深い意味があることを学び、自然と先人の知恵に改めて感謝しました。(受講生 長谷川)



## 東部公民館 連続講座 「地域の水と緑のまちづくり」

日時：11月8日(土)・15日(土)・22日(土)  
12月6日(土)・14日(日) 全5回  
AM10:00~12:00

集合場所：東部公民館

内容：若葉町・入間町には国分寺崖線の緑と野川の水辺が広がっています。この水と緑の環境は、ほっとする市民の憩いの空間です。現状を知り、水と緑を生かした町づくりをワークショップで考えていきます。

講師：富田 広 氏・君塚芳輝氏・市職員

定員：申し込み順 40名

保育有り

問合せ：東部公民館 03-3309 4505

## 雑木林塾

日時：11月22日(土) 10:00~15:00

集合場所：へび山

内容：笹刈りその他、虫の観察、

持物：軍手・昼食・飲み物・筆記用具・作業できる服・(あればノコギリなど作業道具)

問合せ：環境保全課(81-7086)

## 環境モニター・ガイドウォーク

寺社と古木 西光寺の近藤勇像」

日時：11月8日(土) 10:00~12:00

集合場所：西調布駅改札外

内容：環境モニターのガイドで西調布周辺の寺社と古木をたずねて歩きます。西光寺の近藤勇像もたずねます。

問合せ：環境保全課(81-7086)

## ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み：(尾辻) [kp5y-otj@asahi-net.or.jp](mailto:kp5y-otj@asahi-net.or.jp)

## 環境市民懇談会 連絡会議に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみようと思っっている方、どなたでもお気軽にご参加ください。

## 【編集後記】

食欲の秋、今年は、なんと国産マツタケ5本が贈られてきました。マツタケご飯をはじめ、おすまし、土瓶蒸し、酒蒸しと堪能しました。こんな贅沢なことは、もう一生ない！と親子の携帯待ち受け画面に。(A)



## <会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
11月4日(火) 18:30~20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会
11月6日(木) 18:30~20:30	たづくり 303会議室	環境市民懇談会 運営委員会
11月13日(木) 18:30~20:30	市役所3階 第1会議室	入間・樹林の会 世話人会
11月21日(金) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	環境市民懇談会 連絡会議
11月25日(火) 13:30~	環境部 会議室	ニュースレター 編集

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先 調布市環境部環境保全課

TEL :0424 - 81 - 7086

E-mail : [kankyau@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kankyau@w2.city.chofu.tokyo.jp)

発行：ちょうふ環境市民懇談会